

「成人脊柱変形手術の遷延性術後痛に関する後ろ向き研究」へのご協力のお願い

亀田第一病院麻酔科では、2015年9月からこれまでに当院で成人脊柱変形手術を全身麻酔で行いました患者さんを対象として、「成人脊柱変形手術の遷延性術後痛に関する後ろ向き研究」を検討したいと思っております。なお、研究は亀田第一病院倫理委員会の承認を得て行います。

[研究の目的]

成人脊柱変形手術は、侵襲度が高いため、手術中、手術後に多くの痛み止めが必要です。遷延性術後痛は、2ヶ月以上手術後痛みが続くことをいいますが、頻度は10～20%といわれています。しかし、脊椎手術においては頻度や何が影響するのかまだよくわかっていません。そこでこの調査を行い、遷延性術後痛の抑制効果がある薬剤や影響する因子がわかれば、今後の患者さんの疼痛コントロールに大きく貢献できると思っております。

[研究の方法]

2015年9月から当院にて、全身麻酔で成人脊柱変形手術を受けられた患者さんを対象とします。術前、術後3、6、12ヶ月までの痛みや腰痛の機能評価、薬剤などを麻酔記録、電子カルテから集積します。

[個人情報の保護の方法]

個人情報の記録や保管は直接患者さんを識別できないよう登録番号を用いて行います。なお抽出した情報は、本研究終了後すべて破棄します。

[研究参加による利益・不利益]

カルテからのデータ収集のみであるため、不利益は特にありません。データを提供いただいた患者さん個人には特に利益となることはございません。研究の結果により、今後同じ手術を受けられる患者さんにとってより良い鎮痛、遷延性術後痛の早期予防に取り組むことができます。

[お問い合わせ]

本研究に対してお問い合わせがございましたら

研究責任者: 下畑 敬子(亀田第一病院麻酔科)

電話 025-382-3111 FAX 025-382-3092 までお願いいたします。